



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

米大統領選のトランプ候補勝利は世界中のサプライズでありましたが、金融市場は目先、トランプ新政権の外交・防衛面等での不確実性を横に置いて、経済政策期待にことごとく関心を集中させていて、選挙後は米株式市場が史上最高値を更新しました。

トランプノミクスと呼ばれるようになった政策の方向性は、大胆な減税と規制緩和、そして米経済成長軌道を更に高めつつ長期に安定させることを主眼とした積極財政にあり、1980年代のレーガノミクスとの酷似になぞらえ、マーケットはその再来を囁いているのでしょう。

トランプ氏の大統領就任は来年1月であり、経済政策の実効性は未知数ですから、明らかに期待先行相場ではありますが、少なくとも財政拡大政策がインフレ期待を盛り上げ、米金利上昇とドル高傾向へと大きく前提条件を傾斜させて行く可能性は高まったと言えます。

このトレンド変化は円安進行と直結し、日本経済の停滞感を払しょくする追い風となって、日本株市場にヘッジファンドのみならず長期筋の海外機関投資家資金が劇的に回帰している一方で、国内個人投資家は大きく日本株を売り越す顕著なコントラストが見られ、長期投資家視点からは残念な現象ですが、2016年は年初から1ドル=100円界限まで円高傾向が続いた流れが急速に修正されて、「セゾン号」の長期ツミタテ投資家にとっては結果として将来に向けた充実の1年になりそうです。

米トランプ政権誕生、英EU離脱、そして来年は欧州主要国での総選挙を控え、政治的には不確実性が増していますが、地球の実体経済全体は決して大きく損なわれるわけではなく、グローバリゼーションはプラス面とマイナス面を掛け合わせつつ安定した成長軌道を堅持して行くことでしょう。

今年は想定外のイベントが続き、目先の相場を予測することの難しさを私たちは改めて体感することが出来たはずですが、日々の値動きを一切追わぬ「セゾン号」の長期国際分散投資は、21世紀のメガトレンドにしっかり乗って、泰然自若と進んでいます。

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始除く）

セゾン資産形成の達人ファンド

11月の市場動向

株式：【トランプ新政権が打ち出す政策への期待から米国経済の先行きに対する明るい見方が広がり、米国を中心に上昇】

大統領選挙で勝利したトランプ次期大統領が打ち出す経済政策への期待が高まり、米国では景気の先行きに対する明るい見方が広がって株式市場が上昇しましたが、先進国で金利が上昇したことを受けて資金流出懸念が高まった新興国の株式市場は軟調な展開となりました。

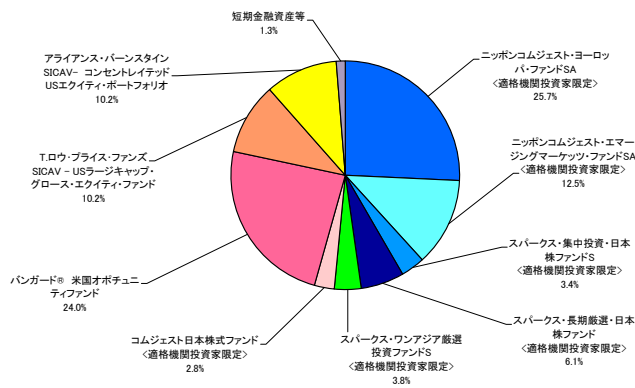
為替：【米国で景気の先行きに対する明るい見方が広がりドルが上昇。円は大きく下落し対ドル、対ユーロで円安】

大統領選挙を経て米国経済の先行きに対する明るい見方が広がり、利上げペースが加速するとの見方が強まってドルが上昇し、ユーロや円が下落しました。円は日本銀行が金利を低めに誘導し、海外との金利差が拡大するとの見方が強まっており、大きく下落しました。

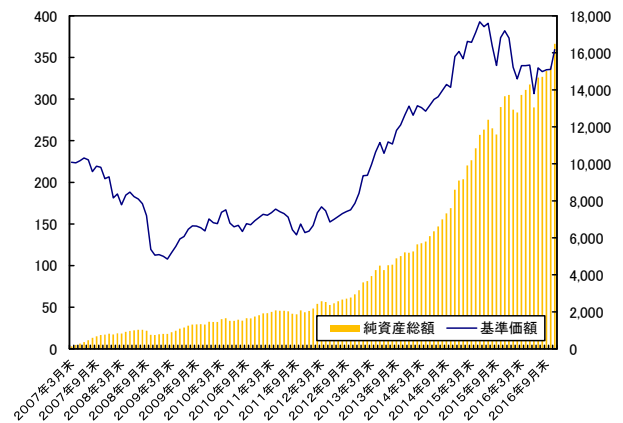
基準価額と純資産総額及び騰落率（2016年11月30日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
16,175円	366.5億円	+61.75%	+7.06%	+5.43%	-5.91%

資産配分状況(2016年11月30日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



11月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでのご購入などにより、皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジエストヨーロッパファンド、コムジエストエマージングマーケットファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、コムジエスト日本株式ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月から低下し、月末時点で1.3%となっております。

ファンドマネジャーからの一言

米国の大統領選挙では大方の予想を覆し、トランプ候補が勝利しましたが、その後の金融市場の動きも、事前に予想されていたものとは全く異なったものとなり、米国の株式市場は上昇し、為替市場ではドルが上昇して円安となりました。

短期的な金融市場の動きは、市場参加者の思惑によって大きく影響されることから、予想が難しいものであり、時には思いがけず大きく変動することがあります。しかし、資産価格は、長期的にはそれぞれの本質的な価値に収斂していくものであり、当ファンドでは、長期的な視点に基づいた調査により本質的な価値を見極め、現在の価格の差に注目して投資を継続することが、長期的に資産を成長させていくための基本であると考えております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆さまの長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5832%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）



セゾン投信